

社会福祉法人・施設の地域における公益的な取組等の実施に関する アンケート調査報告書

～地域貢献活動に対する特徴的な傾向（まとめ）～

平成30年2月

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
経営者連絡会議・社会福祉事業連絡会議

- 社会福祉法人・施設の地域に対する取組（方針）と、地区社協の社会福祉法人・施設に対する要望（期待）とを比較しながら、一致している点、また違いがみられる点などを分析した結果です。

① 活動状況と地域の認知度 ・ ② 活動意向と地域からの期待

法人・施設が現在取り組んでいる、今後取り組みたい地域貢献活動は「人材育成」が最も多くなっていますが、地区社協は「地域を活性化する活動」を最も期待しています。

③ 活動方法の実践と地域からの期待

法人・施設が行う地域貢献活動の活動方法は、地区社協の6割以上が「施設職員の知識や経験を活かした活動」を期待しています。

④ 成果の評価

法人・施設が地域貢献活動を行うことによる成果は、共に「法人・施設の認知度が高まる」をトップに挙げています。

⑤ 課題の認識

法人・施設が地域貢献活動を行う上での課題は、法人・施設は「本来業務が多忙」が最も多く、地区社協は「法人・施設の機能や専門性がわからない」が多くなっています。

⑥ 関わり方

法人・施設と地区社協との今後の関わりは、共に「地域活動を行う上で重要なパートナー」として認識しています。

⇒ 課題等を整理し、重要なパートナーとして活動するために「分かり合える工夫」「つなぎ役の機能」が求められる

1. 趣旨と目的

社会福祉法人・施設の地域貢献活動の状況に加え、地域住民側のニーズを把握するために市内の地区社会福祉協議会（以下、地区社協）に対し、社会福祉法人・施設とどのような関わりをもち、どのようなことを期待しているか等について把握しました。なお本調査の結果は、アンケート結果に基づく研修会等の実施や、各法人の支援に向けて、区社協、地区社協、行政等関係機関への情報提供等に活用していきます

2. 調査対象及び回収

- （1）本会会員の内、社会福祉法人 303 法人及び社会福祉法人の運営する施設 723 施設を対象とし、回収は 317 法人・施設（回答率：30.9%）。
- （2）地区社会福祉協議会 256 地区を対象とし、回収は 247 地区社協（回答率：96.5%）。

3. 調査期間

平成 29 年 9 月 21 日から平成 29 年 12 月 22 日

4. 回答方法

郵送または電子メールにてアンケートサイトを周知し、アンケートサイトから回答。ただし地区社協には、区社会福祉協議会（以下、区社協）から調査票を配布、郵送または聞き取りにより回答を得て、その結果を区社協職員がアンケートサイトから回答。

5. 調査委託先

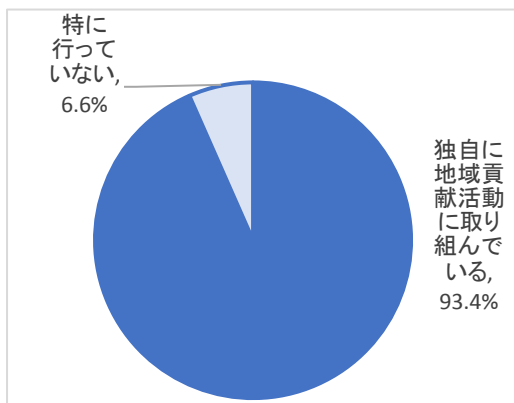
一般財団法人 日本総合研究所

6. 調査結果

(1) 法人・施設が取り組んでいる地域貢献活動と地区社協の関わり

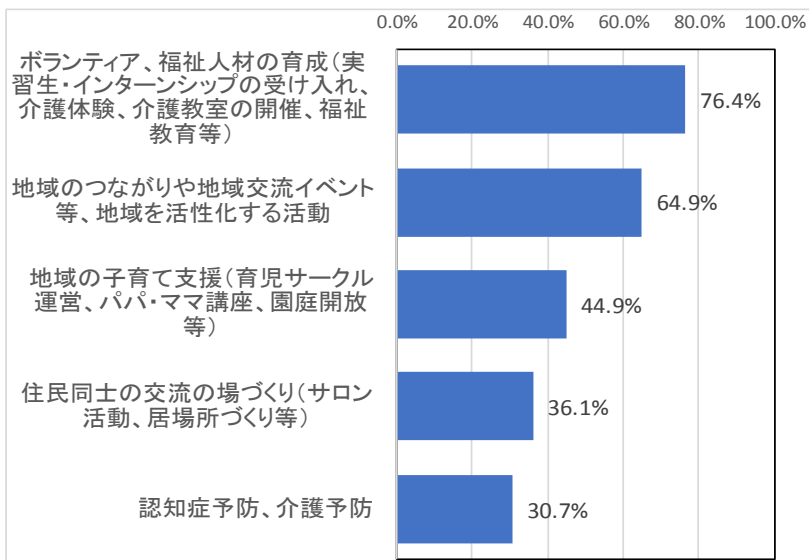
現在、地域貢献活動に取り組んでいる法人・施設は296で全体の93.4%を占めました。内容は「ボランティア、福祉人材の育成」226(76.4%)、「地域のつながりを作る活動」196(64.9%)が多くなっています。

図1 独自の地域貢献活動への取り組み



回答数：317 法人・施設

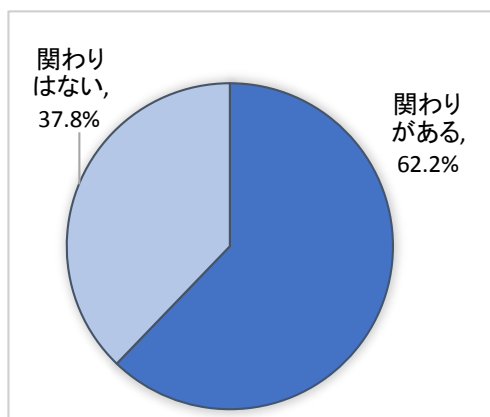
図2 取り組んでいる内容上位5位(複数回答)



回答数：296 法人・施設

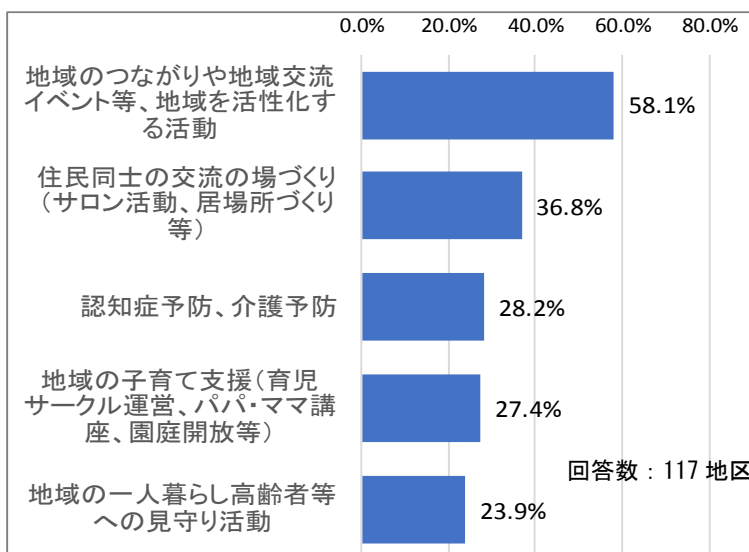
現在、法人・施設が取り組んでいる地域貢献活動に関わりがある地区社協は、法人・施設の地域貢献活動を知っていると回答した188の地区社協のうち、117で62.2%を占めています。活動内容は、「地域のつながりや地域交流イベント等、地域を活性化する活動」が68(58.1%)と最も多くなっています。

図3 地域貢献活動に対する地区社協の関わり



回答数：188 地区

図4 関わりがある内容上位5位(複数回答)



回答数：117 地区

(2) 地域貢献活動に対する特徴的な傾向（まとめ）

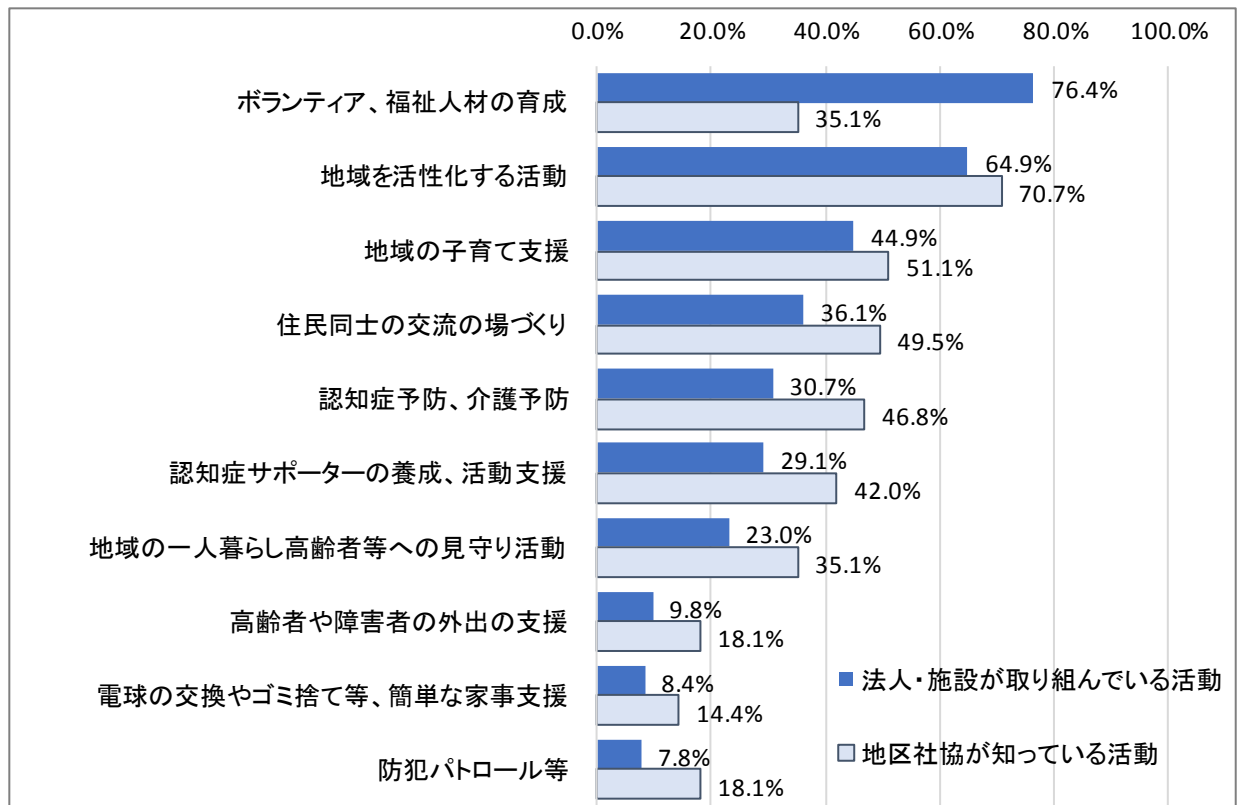
①活動実践と地域の認知度

現在、法人・施設が取り組んでいる地域貢献活動は、「人材育成」が最も多くなっていますが、地区社協では「地域を活性化する活動」が最も知られています。

法人・施設が独自に取り組んでいる地域貢献活動と、地区社協の認知度を比較してみると、法人・施設が最も多く取り組んでいる「ボランティア、福祉人材の育成」が、地区社協にはあまり知られてなく、35.1%でした。一方、地区社協では「地域を活性化する活動」を最も多くなりました。また法人・施設が取り組んでいると回答した割合よりも地区社協の認知度の方が多くなっているのが「住民同士の交流の場づくり」、「認知症予防、介護予防」、「認知症サポーターの養成」、「地域の一人暮らし高齢者等見守り活動」、「高齢者や障害児の外出支援(移動サービス)」です。これらの項目は地区社協が地域の課題として取り上げたことと一致します。

現在取り組んでいる地域貢献活動が、地域の課題やニーズに合っているか、確認を行うことも必要と思われます。

図5 現在、社会福祉法人・施設が取り組んでいる地域貢献活動と地区社協の認知度(一部抜粋)



回答数

活動を行っている法人・施設：296

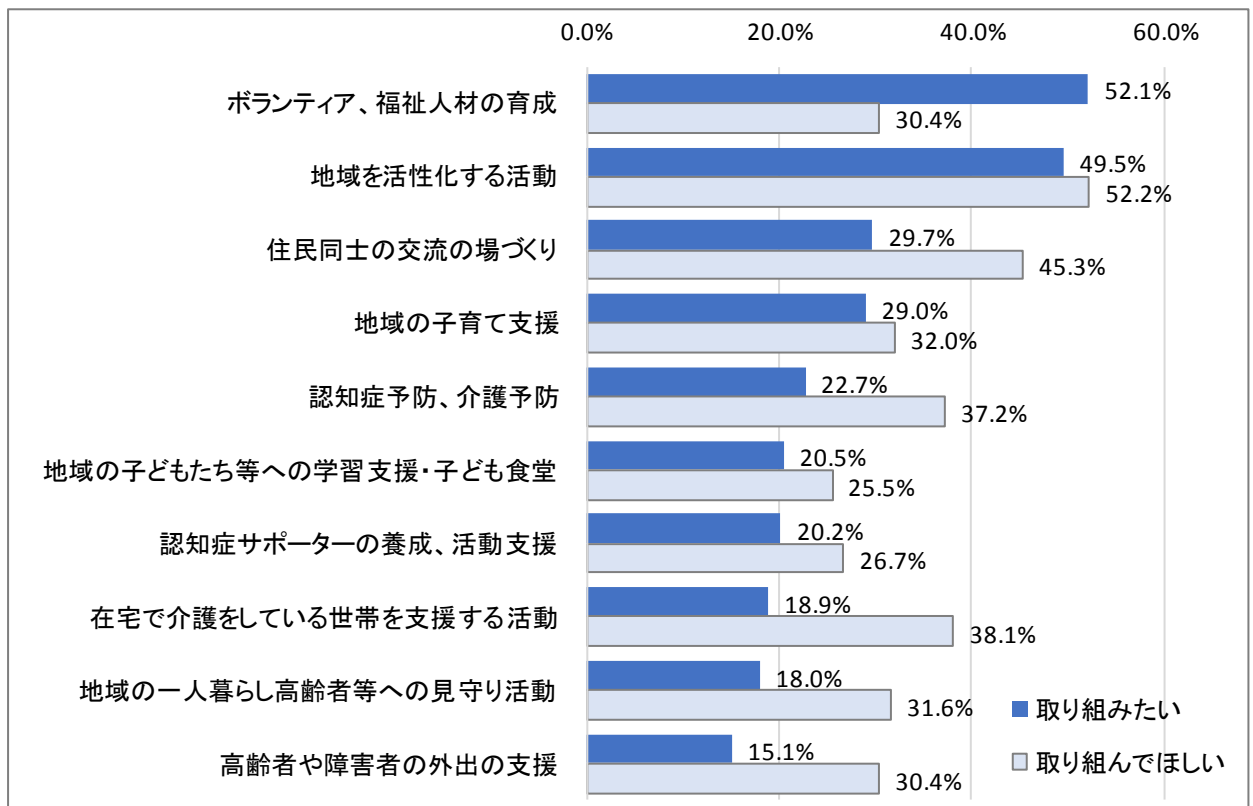
法人・施設と関わりがある地区社協：188

②活動意向と地域からの期待

今後、法人・施設が取り組みたい地域貢献活動も「人材育成」が最も多くなっていますが、地区社協は「地域を活性化する活動」を最も期待しています。

今後、社会福祉法人・施設が取り組みたい地域貢献活動と地区社協が取り組んでほしい活動を比較してみると、法人・施設は「ボランティア、福祉人材の育成」が最も多くなっています。一方、地区社協は、「地域を活性化する活動」を最も期待しています。また「高齢者等への見守り活動」、「在宅介護世帯を支援する活動」、「高齢者や障害者の外出の支援」、「住民同士の交流の場づくり」、「認知症予防、介護予防」等の生活支援や地域住民の生活と健康と仲間づくりに対する支援は、法人・施設よりも多くなっています。

図6 今後、社会福祉法人・施設が取り組みたい地域貢献活動と地区社協が取り組んでほしい活動（一部抜粋）



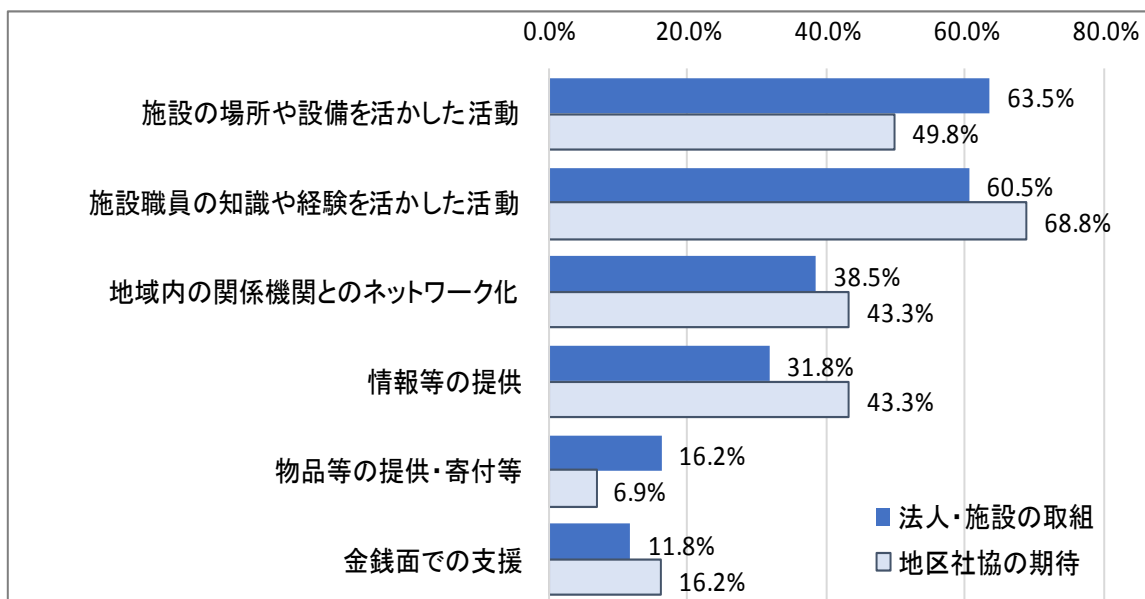
回答数
法人・施設：317
地区社協：247

③活動方法の実践と地域のからの期待

法人・施設が行う地域貢献活動の活動方法は、地区社協の6割以上が「施設職員の知識や経験を活かした活動」を期待しています。

法人・施設が行う地域貢献活動の活動方法としては、法人・施設としては、「施設の場所や設備を活かした活動」、「施設職員の知識や経験を活かした活動」はいずれも6割以上で多くなっています。一方、地区社協は「施設職員の知識や経験を活かした活動」に6割以上の期待を寄せています。また「地域内の関係機関とのネットワーク化」、「情報の提供」は地区社協の回答に多く4割以上となっており、「つなぎ役の機能」の重要性がうかがえます。法人・施設では「物品等の提供・寄付」が、地区社協よりも高くなっており、地区社協としては「物」以上に「情報」という意向が高いことがうかがえます。

図7 社会福祉法人・施設が行う地域貢献活動の活動方法(一部抜粋)



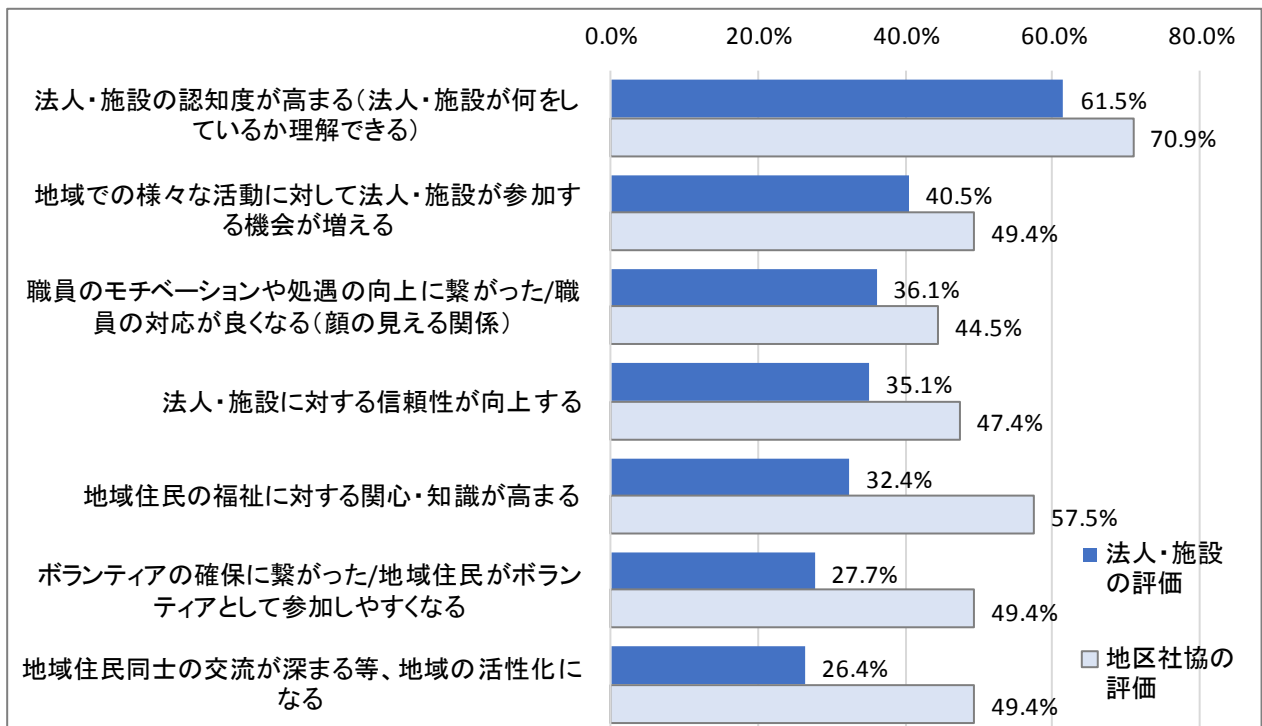
回答数
 活動を行っている法人・施設：296
 地区社協：247

④成果の評価

法人・施設が地域貢献活動を行うことによる成果は、共に「法人・施設の認知度が高まる」をトップに挙げています。

社会福祉法人・施設が地域貢献活動を行うことによる成果としては、ともに「法人・施設の認知度が高まる」をトップに挙げていますが、全体的に地区社協の方が法人・施設よりも評価が高くなっています。特に「地域住民の福祉に対する関心・知識が高まる」、「住民がボランティアとして参加しやすくなる」、「住民同士の交流が深まる等、地域の活性化になる」等の地域全体が元気になると回答した率は地区社協の方が高く、法人・施設への期待が大きいことがうかがえます。

図8 社会福祉法人・施設が地域貢献活動を行うことによる成果



* 法人・施設の回答/地区社協の設問文、ただし/がない場合は同じ設問文

回答数

活動を行っている法人・施設：296

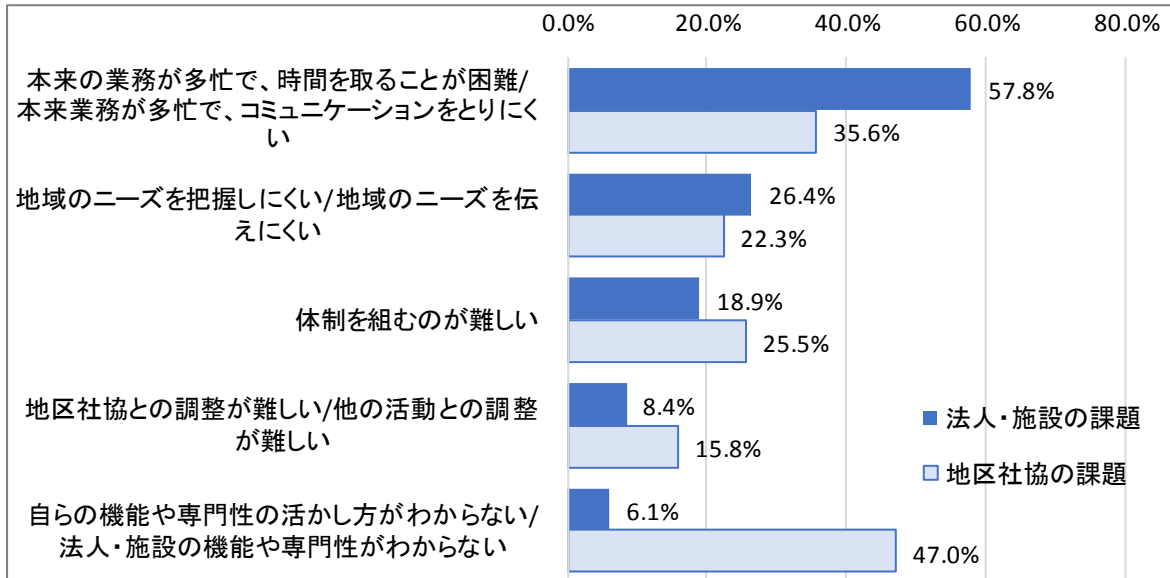
地区社協：247

⑤課題の認識

法人・施設が地域貢献活動を行う上での課題は、法人・施設は「本来業務が多忙」が最も多く、地区社協は「法人・施設の機能や専門性がわからない」が多くなっています。

法人・施設が地域貢献活動を行う上での課題は、「本来業務が多忙」が最も多くなっています。一方、地区社協は「法人・施設の機能や専門性がわからない」が高くなっており、何を法人・施設に頼んでいいかわからないという状況がうかがえます。双方がもっと「分かり合える工夫」が必要であり、そのための「つなぎ役の機能」がますます重要になってきます。

図9 社会福祉法人・施設が地域貢献活動を行う上での課題(一部抜粋)



* 法人・施設の回答/地区社協の設問文、ただし/がない場合は同じ設問文

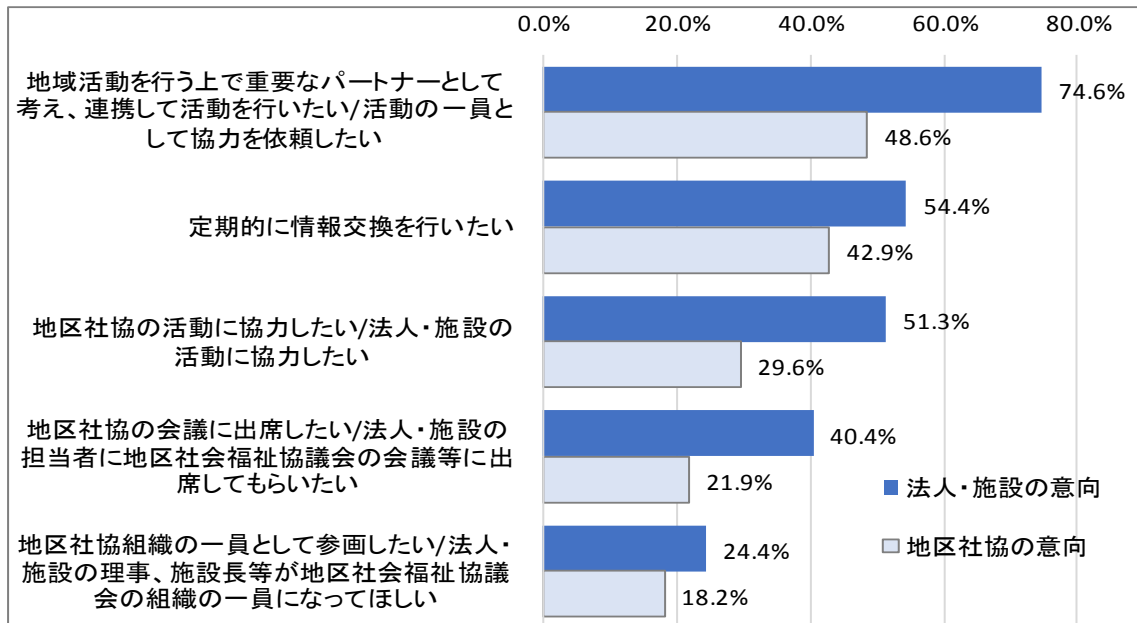
回答数
法人・施設：296
地区社協：247

⑥関わり方

法人・施設と地区社協との今後の関わりは、共に「地域活動を行う上で重要なパートナー」として認識しています。

社会福祉法人・施設と地区社協との今後の関わり方について、双方「地域活動を行う上で重要なパートナー」として認識しています。また、「定期的に情報交換を行いたい」も双方2番目に重視しています。今後、法人・施設と地区社協がお互いの課題や状況を共有・理解しながら、共に協力し合っ
て地域貢献活動を担っていくことが期待されます。

図表 10 社会福祉法人・施設と地区社協との今後の関わり



* 法人・施設の回答/地区社協の設問文、ただし/がない場合は同じ設問文

回答数

地区社協と関わりのある法人・施設 : 138

地区社協 : 247